



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 268
July
2015

トピックス

関係機関との防災協力推進

「防災タウンウォッチング」の促進

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2015

●関係機関との防災協力推進 「防災タウンウォッチング」の促進

アジア防災センター（ADRC）は、コミュニティの防災力を向上させるプログラムとして、「防災タウンウォッチング」の促進を行っています。防災タウンウォッチングは、地域住民が主体的にハザードマップを作成することにより、リスクを効果的に理解することができる、シンプル且つ実践的な体験型のツールです。

今回は、JICA課題別研修「インフラ（河川、道路、港湾）における災害対策コース」の一環として、元アジア防災センター所長の小川雄二郎氏が講師となり、タウンウォッチングを実施しました。

まず、小川先生によりプログラムの概要を説明し、研修生は神戸市内にある青谷地区で地元の警察官の方や消防の方と共に街歩きを行いました。2つのグループに分かれた研修生は、災害に強い箇所、改善すべき場所などをノートや写真を使用して確認しました。その後、青谷地区で得た情報を元にハザードマップを作成しました。最後のステップとして、各グループが作成したマップを用いながら、潜在的な課題点や誰が責任を持って対応すべき等について考察を行い、発表と意見交換を行いました。

研修生からは、このプログラムはコストも安価で、自分たちの街を知るよい手法であるとの声がありました。このように、タウンウォッチングは、住民が直接参加することにより、防災活動を具体的にイメージすることを可能にします。



ステップ1：現地調査



ステップ2：地図作成



ステップ3：発表とディスカッション

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。